

2016年8月吉日

会員各位

日本 DNA 多型学会第 25 回学術集会
大会長 猿渡敏郎

日本 DNA 多型学会第 25 回学術集会開催のご案内 (第 1 報)

会員の皆様におかれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、日本 DNA 多型学会第 25 回学術集会を下記の日程・要領で開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日程 2016年11月30日(水)・12月1日(木)・2日(金)

11月30日(水) 13:00~17:30 一般公開シンポジウム

12月1日(木) 9:30~17:00 (予定) 学術集会第1日

18:00~20:00 懇親会

12月2日(金) 9:30~17:30 (予定) 学術集会第2日

学術集会会場 東京大学 大気海洋研究所
千葉県柏市柏の葉 5-1-5

参加費 事前申し込み： 5,000 円、 学会当日：7,000 円

懇親会費 事前申し込み： 5,000 円、 学会当日：7,000 円

1. 学術集会プログラム概要 (予定)

第1日 11月30日(水)

一般公開シンポジウム 「現代の魚類学 2016」

13:00~17:30 (2階 講堂)

第2日 12月1日(木)

9:00~ 開場・受付開始 (2階 講堂)

9:30~ 開会式 (2階 講堂)

9:40~12:00 口演発表 I (予定) (2階 講堂)

12:10~13:00 評議員会 (2階 217号室)

13:10~15:00 展示発表 I (予定) (1階 エントランスホール)

15:10~16:20 口演発表 II (予定) (2階 講堂)

16:30~17:20 招待講演 I (2階 講堂)

井上 広滋先生 (東京大学 大気海洋研究所 教授)

18:00~20:00	懇親会	(1階 エントランスホール)
第3日 12月2日(金)		
9:30~	開場・受付	(2階 講堂)
9:30~10:20	口演発表Ⅲ(予定)	(2階 講堂)
10:30~12:00	展示発表Ⅱ(予定)	(1階 エントランスホール)
13:00~15:00	口演発表Ⅳ(予定)	(2階 講堂)
15:10~16:10	招待講演Ⅱ	(2階 講堂)
	小原 玲氏 (動物写真家)	
16:20~16:50	総会	(2階 講堂)
17:00~17:30	学会賞授与式	(2階 講堂)
	次期大会長挨拶・閉会式	

本集会のプログラムなどの情報が確定または変更になりましたら、随時、学会ホームページに掲載いたします。ご確認をお願いいたします。

2. 参加手続き

学術集会への参加と発表は、学会員の方に限られます。参加と発表をご希望される方は、日本 DNA 多型学会ホームページ(<http://dnapol.sakura.ne.jp/>)で、学術集会当日までに入会手続きを完了して下さい。

第25回学術集会への参加申し込みと発表申し込みは、ネット経由となります。第25回学術集会ホームページ (<http://dnapol.sakura.ne.jp/document/25congress/index.html>) よりお願いいたします。

1) 参加申し込み：締め切り：2016年9月30日(金) 17:00

第25回学術集会ホームページ (<http://dnapol.sakura.ne.jp/document/25congress/index.html>) よりお願いいたします。2016年9月30日17:00以降は、ネット経由での参加申し込みは受け付けません。以降は学術集会当日の受付となります。申し込みは組織単位ではなく、個人単位でお願いいたします。

第25回学術集会ホームページより参加申し込みをできない方は、「**参加申し込み用紙**」を学術集会ホームページよりダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、第25回学術集会事務局宛に電子メール (dnatakei@aori.u-tokyo.ac.jp) に添付してご提出下さい。**メールの件名を「DNA 多型参加申し込み お名前」としてください。**また電子メールをご利用できない方は、参加申し込み用紙のファイルをCD-Rに収録して、ファイルの内容を印刷した書類とともに、第25回学術集会事務局宛ご郵送下さい。2016年9月30日必着です。

2) 参加費等の払い込み：締め切り：2016年9月30日(金)

学術集会参加費(事前登録)5,000円、懇親会費(事前登録)5,000円を、下記の郵便振替口座に組織単位ではなく、**個人単位**でお振り込み下さい。振り込み手数料はご負担願います。

郵便振替口座

口座名称（漢字）：第 25 回日本 DNA 多型学会学術集会運営委員会

口座名称（カナ）：ダイニジ ユウゴ カイホクテ イエヌエーケイガ ッカイガ クジ ユツシュウカイウソエイインカイ

口座記号番号：00920-1-275845

または、

ゆうちょ銀行〇九九せ けいぎゅう店当座 0275845 ダイニジ ユウゴ カイホクテ イエヌエーケイガ ッカイガ クジ ユツシュウカイウソエイインカイ

一度振り込まれた参加費、懇親会費はいかなる理由であるにせよ、返金はいたしません。ご了承ください。

3. 演題登録

1) 演題申し込みと抄録原稿の提出：締め切り：2016 年 9 月 30 日(金) 17:00

演題申し込みと抄録原稿の提出も、第 25 回学術集会ホームページ (<http://dnapol.sakura.ne.jp/document/25congress/index.html>) 経由でお願いいたします。

ネット経由で演題申し込みと抄録原稿を提出できない方は、第 25 回学術集会ホームページから「**演題申し込み用紙**」と「**抄録用紙**」をダウンロードして、必要事項をご入力の上、第 25 回学術集会事務局宛に電子メール (dnatakei@aori.u-tokyo.ac.jp) に添付してご提出下さい。「**参加申し込み用紙**」も忘れずに添付してください。メールの件名を「DNA 多型演題申し込み お名前」としてください。電子メールをご利用できない方は、参加申し込み用紙のファイルを CD-R に収録して、ファイルの内容を印刷した書類とともに、第 25 回学術集会事務局宛ご郵送下さい。2016 年 9 月 30 日必着です。

2) 抄録原稿作成要領

第 25 回学術集会ホームページから「**抄録用紙**」をダウンロードし、A4 用紙 1 枚で作成して下さい。作成された抄録を第 25 回学術集会ホームページ経由で提出してください。いただいた原稿は左上隅に演題番号を入れ、印刷します。

演者の氏名の頭に○をつけてください。所属は正式名称を用いて下さい。本文は【目的】、【方法】、【結果】などの見出しを付け、報告する内容を分かりやすく簡潔に記載願います。本文は 800 字程度でお願いします。会告の最終ページに抄録の例を示してあります。使用するフォントは明朝体とし、演題は 14 ポイントで、その他は 12 ポイントで作成してください。ご協力をよろしくお願いいたします。

3) 利益相反に関して：締め切り 2016 年 10 月 7 日(金) 必着

発表を申し込まれる方は、第 25 回学術集会ホームページではなく、日本 DNA 多型学会のホームページにございます「利益相反 (COI)」から「(様式 1) COI 自己申告書」をダ

ダウンロードし、必要事項を記入し、署名捺印したものを学術集会事務局へ郵送してください。また、発表の中でも利益相反について明記するようお願いいたします。

利益相反の詳細につきましては、日本 DNA 多型学会のホームページにございます「**利益相反 (COI)**」をご参照ください。

重度の利益相反があると認められた場合は、日本 DNA 多型学会倫理委員会において審議した上で、発表を取り消していただく場合もございます。ご了承ください。

「(様式1) COI 自己申告書」送付先

〒277-8564 千葉県柏市柏の葉 5-1-5

東京大学 大気海洋研究所 資源生態分野内

日本 DNA 多型学会第 25 回学術集会事務局

大会長 猿渡敏郎

4. 発表様式

1) 口演発表

- (1) 発表 7 分、質疑応答 3 分です (予定)。
- (2) パソコンを用いたプレゼンテーションをお願い致します。
- (3) 会場で用意しているパソコンの OS は Windows10 です。ご自身のパソコンは使用できませんので、ファイルをウイルスチェックを済ませた USB メモリ等に保存してお持ち下さい。Mac には対応いたしません。
- (4) パワーポイントによりプレゼンテーションを行う場合は以下の点にご留意下さい (差し支えなければ PDF 化をおすすめいたします)。
 - i. PC にインストールされているバージョンは MicrosoftPowerPoint2013 です。作成したファイルについて、あらかじめ動作等を確認して下さい。
 - ii. パソコンの動作に支障を及ぼさないよう、ファイルの容量減に努めて下さい。
- (5) Windows 標準搭載以外のフォントを使用する場合は埋め込んで下さい。
- (6) アニメーションや動画の使用制限はありませんが動作は保証できません。また他のソフトウェアの利用をご希望の場合は事前に学会事務局にご相談下さい。
- (7) ファイル名は、「演題番号_氏名」として下さい。

2) 展示 (ポスター) 発表

- (1) プログラムでご発表の番号を確認していただき、奇数番、偶数番のセッションの際に、ポスターの前で説明をお願いいたします。
- (2) 展示用パネルのサイズは縦 210cm、横 90cm です。左上隅の 20cmx20cm は演題番号表示に使用します。番号札は事務局で用意します。
- (3) ポスターの貼り付け、撤去時間は下記を予定しています。

貼り付け時間：12 月 1 日 (木) 9:00~9:30

撤去時間：12 月 2 日 (金) 16:30~17:00

なお、未撤去ポスターは事務局にて撤去・処分いたします。

- (4) ポスター発表会場となるエントランスホールは、一般の方も出入りいたします。
この点をご配慮ください。
- (5) 会場でポスターの印刷には対応できません。

5. 「DNA 多型 Vol, 25」収録原稿の作成・提出

例年通り、第 25 回学術集会の発表内容を「DNA 多型 Vol25」として刊行する予定です。発表者は、必ず「「DNA 多型」投稿原稿の作成について（発表者の方へ）」と「著作権の委譲承諾書（様式1）」をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、当日受付へ提出して下さい。

1) 作成方法

学会に公開されている「注意事項」並びに「投稿規定」をご参照下さい。なおカラー写真・図表の掲載も可能です。

2) 提出方法

- ・日時：12月1日（木）・2日（金）9:30～16:00
- ・場所：学術集会会場受付
- ・提出物：(1) 原稿・著者連絡先のテキスト・ファイルおよび図表ファイルを保存した CD-R。「著者連絡先」には、郵便番号・住所・氏名・所属機関名・電話番号・Fax 番号・電子メールアドレスを記載して下さい。
(2) 原稿のプリントアウト
第1頁に著者連絡先を記入して下さい。
(3) 「著作権の委譲承諾書(様式1)」に署名したもの
学会ホームページからダウンロードしてご利用下さい。

6. 会場へのアクセス、宿泊について

会場である東京大学大気海洋研究所の最寄り駅は、つくばエクスプレスの「柏の葉キャンパス駅」です。JR 秋葉原駅から大気海洋研究所までは乗り換えも含めて1時間ほどです。本数は少ないですが、柏の葉キャンパス駅から無料シャトルバスが出ております。アクセスの詳細は、こちらのサイトをご覧ください。<http://www.aori.u-tokyo.ac.jp/access/>

宿泊は各人でお手配ください。JR 柏駅周辺にはビジネスホテルが多数ございます。柏または東京都内での宿泊をお勧めいたします。つくば方面に宿泊されますと、朝のつくばエクスプレスのラッシュに遭遇しますので、お勧めできません。

7. 送付先・連絡先・事務局

日本 DNA 多型学会第 25 回学術集会事務局
〒277-8564 千葉県柏市柏の葉 5-1-5
東京大学 大気海洋研究所 資源生態分野内
第 25 回学術集会事務局
大会長 猿渡敏郎

04-7136-6263 DI, Fax 兼

メールアドレス : dnatakei@aori.u-tokyo.ac.jp

[オンライン大会登録システム、参加費用等のご送金に関するお問い合わせ先]

日本 DNA 多型学会第 25 回学術集会サポートデスク

〒602-8048 京都上京区下立売通小川東入 中西印刷(株)内

TEL : 075-415-3661 FAX:075-415-3662

メールアドレス : dnapol25_enaf@nacos.com

<抄録用紙 記入例>

コイ組換え体ゲノムにおけるソウギョ由来成長ホル
モン遺伝子のコピー数定量法の開発

(明朝体、14 ポイントで記入してください)

○大原一郎、馬久地みゆき、尾島信彦、小林正裕、清水昭男

国立研究開発法人水産総合研究センター中央水産研究所

(明朝体・12 ポイントで記入してください)

(明朝体・12 ポイントで記入してください)

【目的】近年、中国において、ソウギョ由来の成長ホルモン (GH) 遺伝子を導入したコイが開発されている。プロモーター情報が得られない場合、これら近縁種の組換え体では組み換えられた遺伝子のゲノムあたりコピー数を算出することが、組換え体であることを立証する手段のひとつとなる。そこで我々はコイ組換え体におけるソウギョ GH 遺伝子のゲノムあたりコピー数の定量法を開発することとした。特に今回は両種のわずかな塩基配列の違いを利用して、ソウギョ GH 特異的に組換え遺伝子のコピー数を算出できる方法を考案した。

【材料と方法】ソウギョ GH 遺伝子の Exon2 内部に PCR プライマーを設計し、プライマーに挟まれる位置に TaqMan プローブを設計した。PCR プライマーは、3' 末端でソウギョ GH 遺伝子とはマッチするが、コイ GH 遺伝子とは mismatches を起こす位置に設計した。このようにすることによって、コイの内在性 GH 遺伝子は PCR 増幅されず、導入されたソウギョ GH 遺伝子由来のシグナルのみが検出されることになるので、内在性コイ GH 遺伝子の干渉を受けずに定量 PCR が実行できる。ソウギョ GH 遺伝子断片 (140bp) は人工合成したものを用い、組換え体 DNA の模擬試料として 20 ng のコイゲノム DNA に様々な比でソウギョ GH 遺伝子断片を加えて用いた。定量 PCR の装置として、Thermal Cycler Dice TP800 (タカラバイオ社) を用いた。ゲノムあたりコピー数を求める際のレファレンス DNA には、コイの sGnRH (salmon-type gonadotropin releasing hormone) 遺伝子を用いた。

【結果】20ng のコイ DNA にゲノムあたり 0.5 コピーのソウギョ GH 遺伝子断片を加えて定量 PCR を行ったところ、ゲノムあたり 0.492 ± 0.051 コピーという実測値が得られた。片方の半数体のみ 1 コピーの組換え遺伝子が導入されている場合が理論的に最小の組換え体含有コピー数 (0.5) となることから、当該方法はソウギョ GH 遺伝子組換えコイを検出する方法として有効であることが示された。コイゲノムあたり 1.0 コピー、2.0 コピー、4.0 コピーでも同様に、コイゲノムに加えられたソウギョ GH 遺伝子を検出可能であった。

